

第23期 事業報告書

令和 4年 4月 1日から

令和 5年 3月31日まで

平素は株主の皆様には格別のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第23期の決算報告を申し上げます。

令和2年初頭から始まった新型コロナウイルス感染拡大も令和5年初頭からは収束の兆しが見えてきましたが、生活様式の変化、物価高騰の影響で、経済状況は引き続き、厳しい状況が続いています。外国人旅行者は中国本土からの旅行者を除き増加傾向にあり、日本人の帰省、国内旅行、海外旅行も3年ぶりに増えてまいりました。しかし、少子高齢化、人口減少は東京を除く国内すべての地域で歯止めがかからない状況で、生活環境の仕組みや地域経済にも大きな打撃を与えています。一方世界情勢は昨春始まったロシアのウクライナ攻撃による戦争状態は両国だけの問題にとどまらず、エネルギー問題、食糧問題、貿易問題等全世界を巻き込んだ大変憂慮すべき状態がまだまだ続いております。それに台湾問題の米中摩擦やスーダン、ミャンマー、アフガニスタン等での国内紛争等が勃発しており全世界で平和と程遠い状況が続いております。

このような状況の中、当社におきましては中心市街地の役割を認識し、新型コロナウイルス感染防止を徹底してまちなかの賑わいを創出してまいりました。

今年度18周年を迎えましたセントファーレテナントビルにおいては、利用する市民の皆様喜んで頂けることを目的に、地下駐車場のライン引き、センターコート照明のLED化、ハンギングフラワー設置等による環境整備に努めてまいりました。指定管理については、セントファーレ駐車場、田原駅南公共駐車場、蔵王山展望台の施設を安心安全でかつ利便性を考え運営することができました。

その結果、当期の売上高は262,650千円となり、税引前当期利益は15,929千円、当期利益は11,374千円となりました。

三河田原駅前工場跡地活用事業については、引き続き尽力し、今後のまちづくり計画に田原市、商工会と一致協力していく所存であります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以下、令和4年度事業を報告いたします。

1. 商業活性化事業

- ◆ あつまるタウンニュースの発行（年3回、12,000部/回）
- ◆ まちなか情報誌「街あるつく田原」発行（年3回 3,000部/回）
- ◆ ララグランマルシェ、ラランマーケット、ハロウィンウォークの開催
- ◆ セントファーレテナント会支援
（オータムフェア、クリスマスイルミネーション等）

2. 地域活性化事業

- ◆ まちなか賑わいづくり実行委員会
 - ・四つ葉イベント（令和4年4月23日（土）～5月8日（日））
 - ・こいのぼりイベント（令和4年4月3日（日）～5月9日（月））
 - ・ハンギングフラワー（春）設置（令和4年5月29日（日））
 - ・七夕イベント（令和4年6月24日（木）～7月8日（木））
 - ・竹あかり事業（令和4年5月下旬～令和5年1月）
 - ・ハンギングフラワー（秋）設置（令和4年10月16日（日））
 - ・イルミネーション点灯式（令和4年11月5日（土））
 - ・イルミネーション事業
（令和4年10月10日（月）～令和5年2月15日（水））
 - ・菜の花イベント（令和5年1月28日（土））
 - ・おひなさまイベント（令和4年12月中旬～令和5年3月18日（土））
 - ・桜まつり（令和5年3月10日（金）～3月31日（金））
 - ・年間事業 花ロード事業、フラッグの設置

3. 中心市街地活性化事業

中心市街地活性化を目的に整備された商業施設 **LaLaGran** の運営管理及び当施設と駅前広場を活用した、マルシェなどまちなか賑わいイベント開催事業を実施。また、三河田原駅を中心としたまちなか商店街と連携し、まちなかの回遊促進のイベントを開催し中心市街地の活性化に寄与する事業を進めた。

4. 施設管理運営事業

- ◆ セントファーレ施設管理
 - ・ハンギングフラワー春秋設置
 - ・地下駐車場ライン引き
 - ・センターコート照明LED化
 - ・ハト忌避対策実施

- ◆ 指定管理
 - ・セントファールレ公共駐車場の管理運営
 - ・田原駅南公共駐車場、田原駅公共駐輪場の管理運営
 - ・蔵王山展望台の管理運営
- ◆ 福祉の里住宅の店舗施設の管理
- ◆ 蔵王山展望台カフェ外部事業者に5月より委託
- ◆ 直営店100円ショップキャンドウの運営
- ◆ ラグラン施設管理

5. 委託管理

- ◆ 松下、柳町駐車場管理